

# 埼臨技 だより



発行所 公益社団法人 埼玉県臨床検査技師会 〒330-0072 さいたま市浦和区領家7-14-7  
TEL 048(824)4077 FAX 048(824)4095 URL:<http://www.sairingi.com/>  
携帯URL:<http://www.sairingi.com/keitai/index.html> Twitter : @sairingi

## 埼臨技事務所リフォーム完成！

埼臨技事務所のリフォームが完成しましたこと、報告いたします。

昨年のだより6月号（第421号）にて埼臨技事務所の老朽化に伴う現況報告並びにリフォーム案に関するパブリックコメントを募集いたしました。

現況の要約は昭和42年に建築された物件を昭和60年に購入。築48年が経過し老朽化も進み、雨漏りやアンテナが倒壊し瓦を突き破った、外壁の一部が剥がれ落ちた、ガス漏れや上水道の配管が詰まつた等の度重なる不具合に加え、一級建築士による耐震一般診断で「倒壊の危険性が非常に高い」との結果報告がありました。上記を踏まえ理事会にてリフォーム施行が承認され、昨年9月20日(土)事務所近くに貸借した仮事務所への引越し作業を理事・監事・事務員で行いました。同月25日(木)より工事が開始され、今年1月8日(木)に事務所リフォーム後の本引き渡しが行われました（詳細はHPおしらせの「埼臨技事務所リフォームへの道」参照）。その後も引き続き修正部分の工事が継続され4月末日を持ってフルリフォームが完成いたしました。外壁のデザインは血管をイメージ。内壁色は以前の焦げ茶色から白色に変わったことで、薄暗く感じた会議室も明るくなり役員の顔もはっきり見られるようになりました(笑)。研究班会議や各委員会でも是非利用してください。でも何より一番良かったと思うことは、地震による倒壊の可能性が少なくなったことだと思います。東日本大震災後の理事会の開催中に何度か大きな余震に見舞われ、その都度、多くの役員が事務所は大丈夫か？と。事務所無くしては埼臨技の活動はありませんので。



リフォーム前



リフォーム後

(文責：矢作 強志)

## 平成27年度 定時会員総会開催のお知らせ

定款第14条の規定により下記のとおり平成27年度公益社団法人埼玉県臨床検査技師会定時会員総会を開催しますので会員各位の出席をお願いいたします。

日 時 平成27年6月5日（金曜日）午後6時30分から  
場 所 大宮ソニックシティ 906号室

## 第44回 埼玉県医学検査学会 学術情報

### 1. 市民公開シンポジウムの講師が決定しました！！！

#### 仮題：「がんと言われた日に」～がんサバイバーシップの始まり～

「がん」と言わされたときに私たちは一人で立ち向かわなければならないのでしょうか・・・そんなことはありません。「その時」、心・地域・社会、そして治療の面から大きなサポートを得ることができます。そのサポート体制の最前線で仕事をされている先生方に講師をお願いすることができました。

##### 講演1 メンタルケアの立場から

(仮) 「がんを受け入れ、がんと向かい合う」

丸倉 直美 先生（埼玉県立がんセンターリエゾンナース）

##### 講演2 ソーシャルケアの立場から

(仮) 「患者さんを地域・社会で支えること」

賢見 卓也 先生（NPO法人がんと暮らしを考える会代表）

##### 講演3 メディカルケアの立場から

(仮) 「医療はサポートー～正しい医療を選ぶ～」

勝俣 範之 先生（日本医科大学武藏小杉病院 教授）

がんは特別な病気ではなく、多くの方が罹患する疾患です。その時点で最適な支援を得るために知識を得る機会になるはずです。学会当日を楽しみにしていてください。

### 2. 4月1日から演題募集を開始しました。（再掲）

実行委員でテスト登録を色々やってみました。その結果、いくつか把握していただきたいことがありますのでお知らせします。

#### ①JAMTISの操作は確実に行えば、とてもスムーズに登録されます。

- 会員番号を入力→「確認」ボタンで情報を自動表示させる。
- 途中でどんな操作をしても最後は「STEP5」の「確認」を押してから止める。

#### ②内容を修正した場合、JAMTISに反映されるには少し時間がかかります。

登録内容をプレビュー（PDF）で確認後に修正した場合、その内容が反映されるのに30分～60分程度かかる事例が観察されました。確認は少し時間を置いてからにしてください。「修正ができない！」と無用にあわてる事になります。こんな現象がありますから締切直前ではなく、少し早めに抄録の登録完了することをお勧めします。

### 【演題の申し込み方法のポイント ★締め切り：7月15日(水) ★】

1) 発表者及び共同発表者は会員であることが原則です。



最近は、空腹時血糖が正常な「かくれ糖尿病」の人がいるという事がわかっており、空腹時と食後血糖の両方で診断するそうである。また持続血糖測定（CGM）システムのお話では、実際に先生が装着した時の血糖データをもとに解説していただいた。最近注目されている、血液中の過剰な糖を尿中に排泄させることで血糖値を下げる薬であるSGLT2阻害薬についてのお話もあり、とても興味深かった。患者の検査結果が、血糖値は正常でも尿糖が4+などの場合はこの薬剤を服用している可能性が高いため、注意が必要である。

(文責：竹山梨枝子)

## テーマ 病気がみえるシリーズ！ 腎不全 血液透析と連続携行式腹膜透析(COPD)による治療～浸透圧検査も含めて～ 腎不全の食事療法

主催 一般検査研究班

実施日時：平成27年1月23日 19時00分～21時00分

会 場：浦和コミュニティーセンター 第13集会室 点数：専門教科－20点

講 師：清 正夫（JCHO埼玉メディカルセンター 主任臨床工学技士）

稻垣 綾子（JCHO埼玉メディカルセンター 管理栄養士）

参加人数：会員36名 賛助会員1名

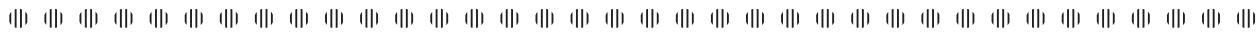
出席した研究班班員：川音勝江 山浦久 室谷明子 深田茂則 小関紀之 竹山梨枝子  
土屋貴絵 槇島碧

研修内容・感想など

今回の「病気がみえるシリーズ！」は、腎不全をテーマに開催した。腎不全が進行するとなくてはならないのが透析療法である。透析の原理や合併症について、浸透圧の話を中心に臨床工学技士の清先生にご講演いただいた。また、透析の患者はどうのような食事を普段されているのか、注意点などを踏まえて栄養士の稻垣先生にご講演いただいた。食事ではカリウムを抑えるため、野菜を茹でて調理したり、低カリウムレタスの紹介があった。また、水分摂取量は一日にコップ4杯程度と制限されていることを知り、驚いた。

二人のお話で共通して言えることは、電解質の管理がとても重要だという事である。腎臓の働きは様々であるが、主に老廃物の排泄、水分調節、電解質・酸塩基平衡の調節などである。そのため、腎不全に陥るとそれらの機能を透析療法と食事制限によって補わなくてはならないので、透析患者は体力的・精神面でもかなりの負担を背負っているのだと改めて感じた。腎不全にならないために、適度な運動と普段の食生活に気を付けていきたい。

(文責：竹山梨枝子)



### 平成27年度 公益社団法人埼玉県臨床検査技師会 第1回 理事会議事録

日 時：平成27年4月9日(木) 19時00分より  
場 所：埼臨技事務所

さいたま市浦和区領家7-14-7

議 題：I. 行動報告 II. 報告事項  
III. 承認事項 IV. 議題

出 席：(理事)津田 神山 岡田 矢作 小山  
奈良 猪浦 長岡 伊藤 松岡

小島 濱本 藤井 山口 鳥山  
武関 野瀬 神嶋  
(監事)遠藤 細谷

本日の理事会の出席者は20名であった。理事の出席者は18名で、現在20名の過半数に達しており、定款第33条第1項の決議を行うに必要な要件を満たしていることを確認した。

議長は、定款第32条第1項より、津田聰一郎会長が務めることとなった。

I. 行動報告(平成27年3月12日～平成27年4月8日)  
3月12日(木)平成26年度公益社団法人  
第13回理事会：  
津田、神山、島村、矢作、小山、

奈良、猪浦、長岡、伊藤、松岡、  
小島、濱本、藤井、長澤、山口、  
鳥山、野瀬、神嶋、遠藤

3月12日(木)西武学園医学技術専門学校卒業式  
：濱本

3月13日(金)埼玉県立大学卒業式：岡田

3月14日(土)埼玉医科大学卒業式：津田

3月15日(日)文京学院大学卒業式：遠藤

3月20日(金)平成26年度臨時会員総会：  
津田、神山、島村、岡田、矢作、  
小山、奈良、猪浦、長岡、伊藤、  
松岡、小島、濱本、藤井、長澤、  
山口、鳥山、武闘、野瀬、神嶋、  
遠藤、細谷

3月23日(月)第44回県学会第5回実行委員会：  
長岡、岡田

## II. 報告事項

### 1 事務局

1)特になし

### 2 総務部

1)「埼臨技だより」第431号、4月15日発行予定

### 3 事業部

1)4月27日、第1回検査室管理運営委員会を開催予定。

### 4 学術部

1)衛生研究所・微生物検査研究班・公衆衛生検査研究班合同研修会の会場費を今回は無料とした。

2)輸血検査研究班より研修会案内の「だより」挟み込み依頼があった。

### 5 精度保証部

1)平成26年度日臨技精度保証施設認証取得が発表された。

2)平成26年度日臨技精度保証施設認証取得に関して申請の緩和措置が施行された。

### 6 会計部

1)平成26年度正会員費1名分5,000円、入会金1名分1,000円、平成27年度正会員費2,310名分11,550,000円、入会金16名分16,000円、合計11,572,000円の入金があった。

2)生涯教育推進研修会助成金として2研修会費として86,000円の入金があった。

3)平成26年度臨床検査データ標準化事業助成金として250,000円の入金があった。

4)平成26年度検査説明・相談講習会助成金271,000円の入金があった。

5)埼玉県医師会より埼玉県精度管理費2,120,000円の入金があった。

6)株式会社メテオよりMedical on line文献権利承諾使用料108円の入金があった。

7)埼臨技会誌第61巻4号印刷代、だより第430号印刷代、合計549,806円を石井印刷に支払った。

### 7 精度管理委員会

1)埼玉県医師会精度管理事業の評価に一部訂正が発生し、施設評価間違いに対応した。

### 8 一都八県会長会議

1)特になし

### 9 日臨技関甲信支部

1)特になし

### 10 日臨技

1)3月28日、第6回理事会が開催された。都道府県技師会会員管理システムの変更がある。また、平成27年度定時総会では定款の変更が予定されている。

2)平成28年度の首都圏支部臨床検査学会と関甲信支部臨床検査学会の合同開催が承認された。

### 11 第44回埼玉県医学検査学会

1)3月23日、第5回実行委員会を開催した。

### 12 役員推薦委員会

1)4月8日に第1回役員推薦委員会が開催され、平成27・28年度監事の推薦があった。

## III. 承認事項

### 1 事務局

1)会員動向(会費納入済)(平成27年度分)  
平成27年4月1日現在  
会員数 2,421名

(新入会員 20名[平成26年度会員数2,441名])  
賛助会員 18社[平成26年度 79社]

2)神嶋理事の所属部署変更について  
精度保証部から事業部に変更とする。

### 2 総務部

1)特になし

### 3 事業部

1)特になし

### 4 学術部

1)平成26年度優秀論文賞について  
第61巻3号(Vol.61 No.3 2014)  
原著「学校検尿の蛋白定性検査におけるクレアチニン補正の有用性」

斎藤真紀子 ほか(一般社団法人 浦和医師会メディカルセンター)

### 5 精度保証部

1)特になし

### 6 会計部

1)特になし

**IV. 議題**

- 1 平成27年度定時会員総会議案書について  
標記の件について、矢作事務局長より発言があった。これを受け理事会審議の結果、一部修正を行った後、出席理事全会一致で承認した。
- 2 平成27年度定時会員総会 総会案内及び出席票について

標記の件について、矢作事務局長より発言があった。これを受け理事会審議の結果、出席理事全会一致で承認した。

以上で本日の議事を終了し、議長は協力を謝して閉会とした。

## 求人案内

## ○さいたま市立病院

採用条件：産休代用  
連絡先：048-873-4111 内線2272  
検査科 手塚

## ○医療法人財団 協友会 東大宮総合病院

採用条件：正職員  
連絡先：048-681-0366  
人事課 採用担当 大山

## ○医療法人 聖仁会 西部総合病院

採用条件：正職員  
連絡先：048-854-1111 総務課 鈴木

## ○医療法人 高友会 笠幡病院

採用条件：臨時職員（パート）  
連絡先：049-232-1231 事務長 生田

## ○医療法人瑞穂会 川越リハビリテーション病院

採用条件：正職員 臨時職員  
連絡先：049-245-3716 法人本部採用係

## ○株式会社ピーシーエルジャパン 病理・細胞診センター

採用条件：正職員 臨時職員（パート）  
連絡先：049-234-7310  
総務部 採用担当 古田島

給与、社会保険等、詳細につきましては掲載してある連絡先にてご確認をお願いいたします。

## あとがき

日々のお仕事お疲れ様です。

私は、生化学と採血業務を担当しています。採血は携わってかなりの年月が経ちますが未だに不安と闘いながら業務に就いております。時には、自分は天才ではなかろうかと有頂天になることもあります、すぐに大いなる勘違いであったと落ち込む、浮き沈みが激しい時間帯です。

話はがらっとかわりますが、先日高校野球に携わっている息子の応援に行ってきました。公式戦です。緊張とプレッシャーで満足な結果とはいきませんでした。スタンドから『強気でいけ！』と声を嗄らして応援をしていると、何故か採血のことが頭によぎりました。どちらも日頃からスキルアップに勤しみ、実際の場では、マイナス思考を排除し、よい意味で強い気持ちで臨むメンタリティーは共通するものがあるといえます。

『大丈夫ですよ。必ず私が一回で採らせていただきます！』という言葉は、現在心の中限定で発しております。自信をもって口に出して患者さんにお伝えできる日はくるのか？そのため日々精進して行きたいと思っています。

(長岡 記)

